



2017年5月期

第2四半期累計期間 決算説明資料

(2016年6月1日～2016年11月30日)



タケダ機械株式会社

会社概要

- 創業 : 1966年(昭和41年)3月
- 設立 : 1971年(昭和46年)6月
- 資本金 : 18億7,408万円
- 代表者 : 代表取締役社長 竹田雄一
- 従業員数 : 187名(正社員171名、準社員16名)【連結】
- 敷地面積 : 44,149㎡
- 所在地 : 石川県能美市粟生町西132番地
- 生產品目 : 形鋼加工機、丸鋸切断機、金型、その他(受託事業)
- 取引銀行 : 北國銀行、商工中金、三菱東京UFJ銀行
- 営業所 : 仙台、北関東、東京、名古屋、北陸、大阪、広島、九州
- 納入先 : 鉄骨・鋼材加工会社、製缶・板金加工会社、その他金属加工会社
- 代理店 : 機械工具関連商社、熔材関連商社、鋼材関連商社

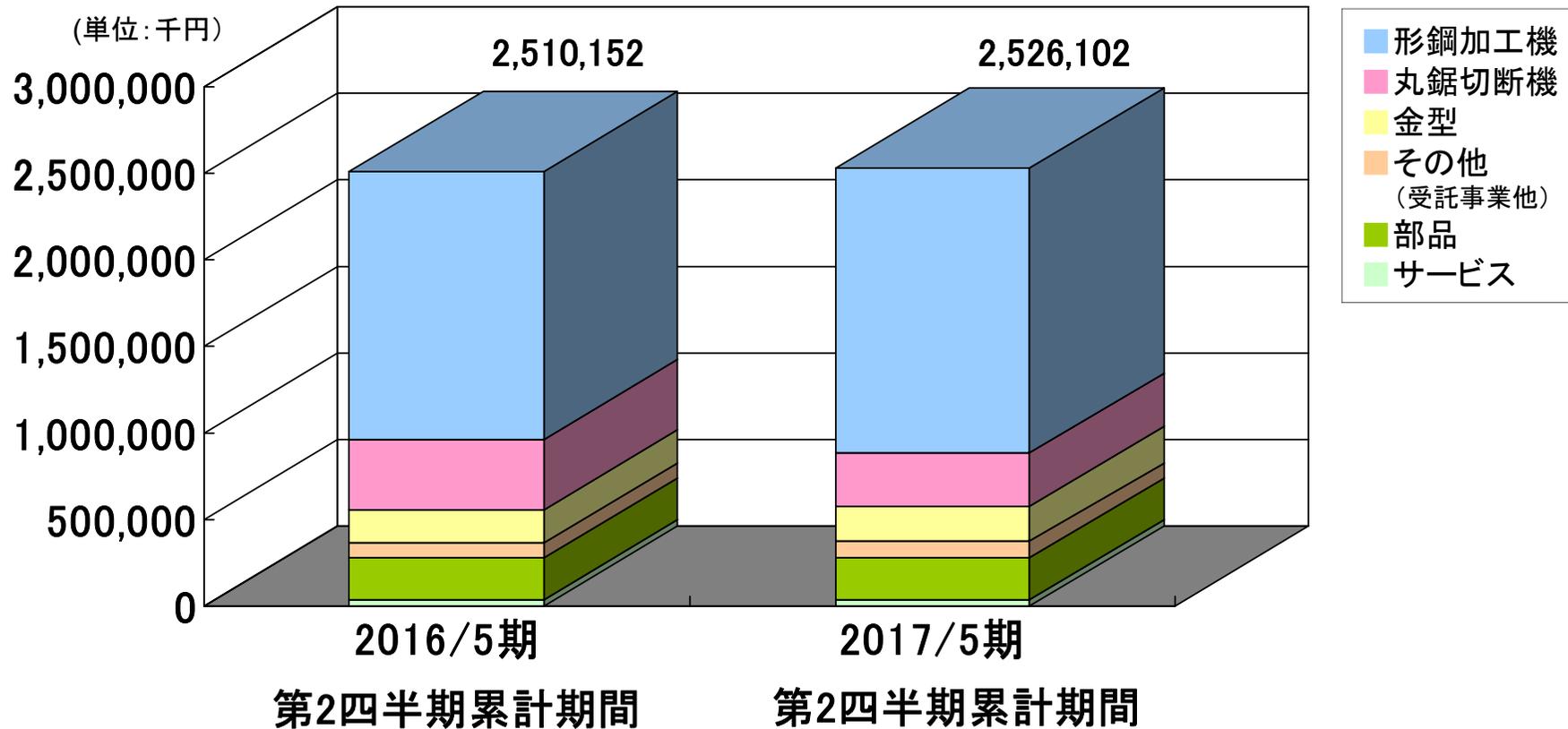
株主構成

●株主の状況(2016年11月末現在)

	株主総数		構成比率	発行済株式総数		構成比率
個人	934	名	93.03%	6,995,574	株	68.59%
金融機関	4	名	0.40%	900,000	株	8.82%
法人	45	名	4.48%	2,035,800	株	19.96%
証券会社	15	名	1.49%	205,261	株	2.01%
その他	6	名	0.60%	63,365	株	0.62%
合計	1,004	名	100.00%	10,200,000	株	100.00%

2017年5月期
第2四半期累計期間
業績状況

売上高【連結】



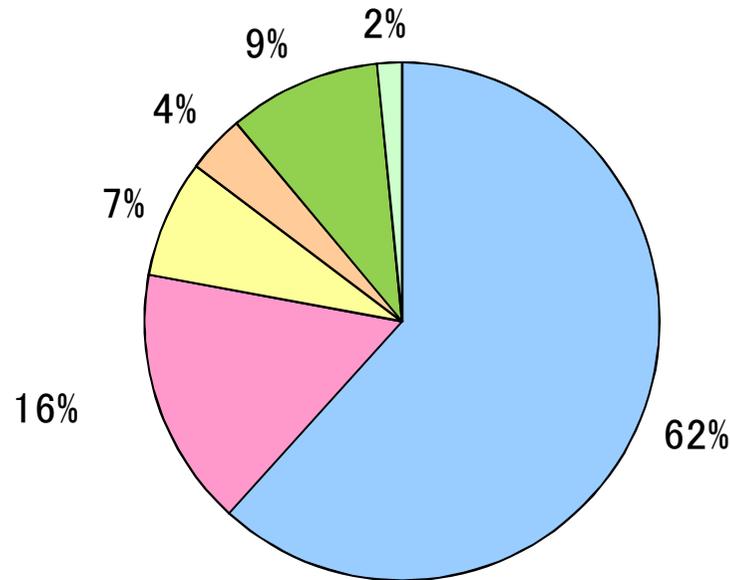
第2四半期連結累計期間における我が国経済は、中国経済の減速がより鮮明になり、英国のEU離脱の影響を受け、円高基調が続き、設備投資や輸出に停滞感が強まりました。

しかし、米国の雇用環境の改善や原油需給の是正、次期米大統領トランプ氏選出による次期政策の期待感で米金利が急騰、円安方向へ向かうなど、全般的に不安定な経済環境でありました。

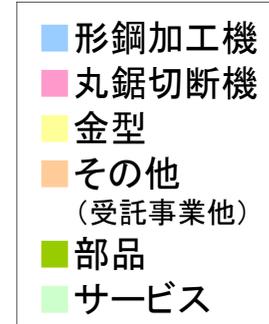
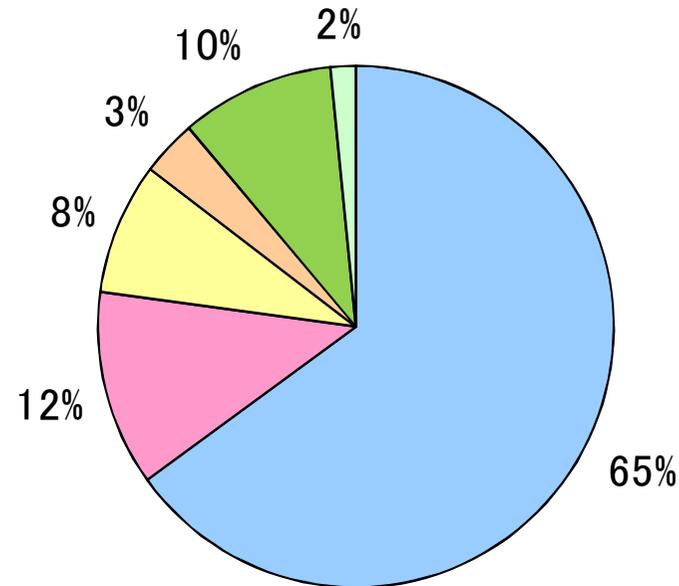
このような経済環境の中、当社グループは「お客様視点のものづくり」を基本原点に、新製品開発の促進、提案営業の展開、保守サービスの充実を実施し、前年度並みの実績をあげることが出来ました。

売上構成比の比較【連結】

2016/5期 第2四半期累計期間



2017/5期 第2四半期累計期間



●部門別売上高

(単位:千円)

	形鋼加工機	丸鋸切断機	金型	その他	部品	サービス	合計
2016/5期 第2四半期累計期間	1,549,385	405,525	185,027	91,549	239,545	39,118	2,510,152
2017/5期 第2四半期累計期間	1,641,909	306,586	206,250	87,975	243,646	39,733	2,526,102

貸借対照表【連結】

(単位:千円)

	2016/5期 第2四半期累計期間	2017/5期 第2四半期累計期間	前期比増減額
流動資産	3,190,990	3,376,017	185,027
固定資産	2,494,793	2,683,585	188,792
資産合計	5,685,783	6,059,603	373,819
流動負債	2,274,535	2,062,210	▲212,324
固定負債	1,160,261	1,459,761	299,500
負債合計	3,434,796	3,521,971	87,175
資本金	1,874,083	1,874,083	—
剰余金等	376,903	663,547	286,644
純資産合計	2,250,987	2,537,631	286,644
負債・純資産合計	5,685,783	6,059,603	373,819

損益計算書【連結】

(単位:千円)

	2016/5期 第2四半期累計期間	2017/5期 第2四半期累計期間	前期比増減額
売上高	2,510,152	2,526,102	15,949
売上原価	1,775,548	1,806,430	30,882
販売費・一般管理費	448,156	447,815	▲341
営業利益	286,447	271,856	▲14,591
営業外収益	21,745	34,474	12,729
営業外費用	19,142	24,173	5,030
経常利益	289,049	282,157	▲6,892
特別損益	56,849	1,499	▲55,349
法人税等その他	173,099	105,281	▲67,817
親会社株主に帰属する 四半期純利益	172,800	178,376	5,575

キャッシュ・フロー計算書【連結】

(単位:千円)

	2016/5期 第2四半期累計期間	2017/5期 第2四半期累計期間	前期比増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	▲89,267	▲86,689	2,578
投資活動による キャッシュ・フロー	▲143,409	▲42,432	100,977
財務活動による キャッシュ・フロー	90,097	199,349	109,252
現金及び現金同等物の 増減額(▲は減少)	▲142,580	70,227	212,807
現金及び現金同等物の 第2四半期末残高	227,512	306,778	79,265

2017年5月期 業績予想

2017／5期通期予想修正1

形鋼加工機

東京オリンピックに関連する需要の本格化に加え、引き続き都市圏を中心に、鋼構造プロジェクトや国土強靱化基本計画による防災補強工事及び更新計画も点在していることから、機械設備の更新需要は前年度並みに推移する予測。

丸鋸切断機

国内の自動車関連需要が回復せず、引き続き低調に推移すると予測。海外については世界人口の増加を背景に堅調に推移し、国内外全体としては前年並みを予測。

金 型

メガソーラー関係が一段落したものの、形鋼加工の需要増は見込まれているため、金型製品並びに消耗品は前年度を上回ると予測。

その他 (受託事業他)

受託事業は、ファブレス企業(自動車関連設備機械メーカー)からの受注が、海外後発メーカーとの競合激化の関係から、前年に続き低調と予測。

部 品

形鋼加工機のリプレースに当たり、生産性向上及び人手不足の関係からオプション品の需要が増加しており、前年度並みに推移すると予測。

サービス

形鋼加工業界における設備機械の稼働率が高く、迅速なサービス要求やレイアウト変更に伴う移設も多く、前年度並みに推移すると予測。

2017/5期通期予想修正2【連結】

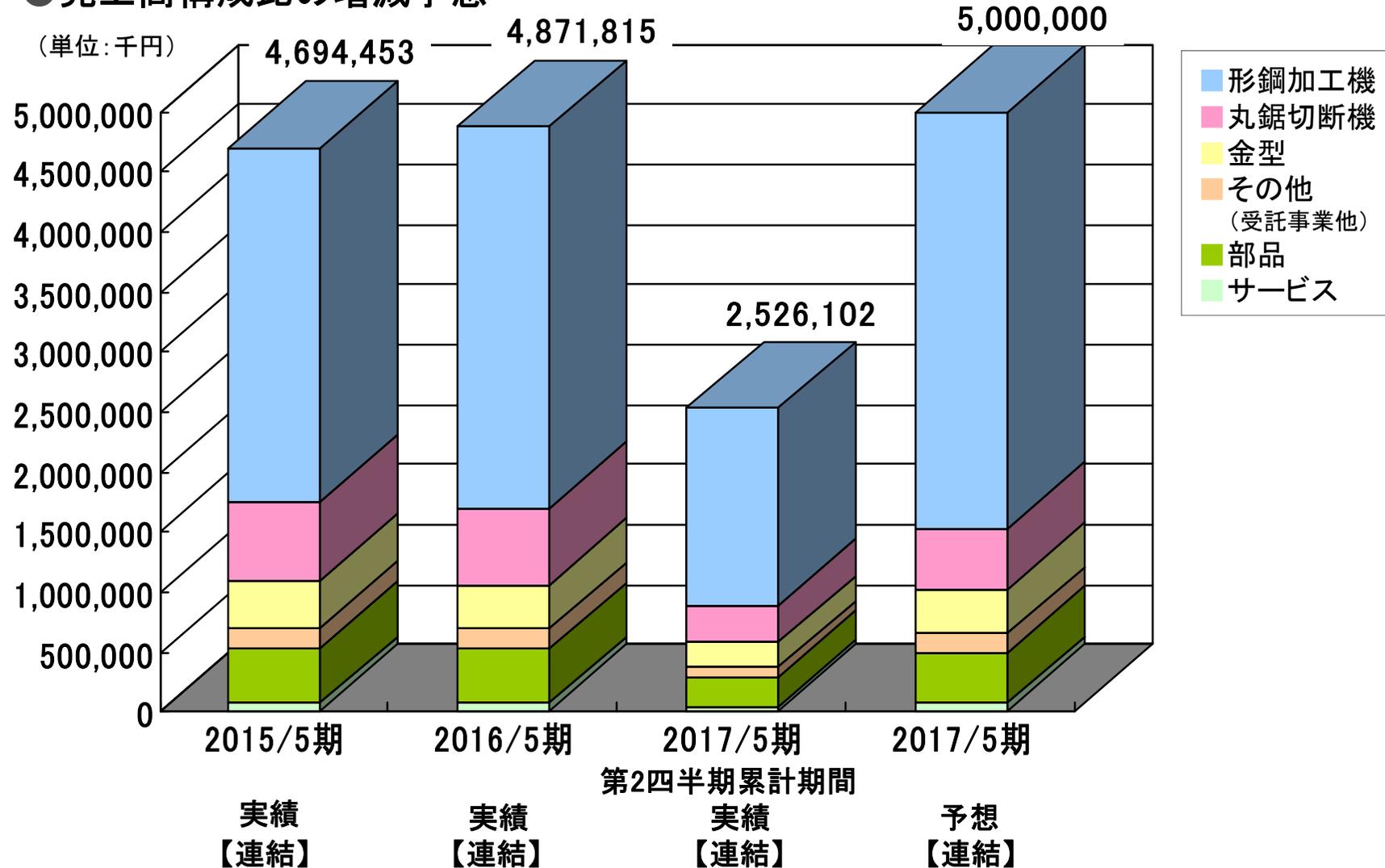
●売上高の実績及び予想

(単位:千円)

	2016/5期 (実績)	2017/5期 (予想)	構成比率	前期比 増減率
形鋼加工機	3,175,803	3,473,620	69.5%	9.4%
丸鋸切断機	635,359	503,380	10.1%	▲20.8%
金 型	368,686	372,000	7.4%	0.9%
その他 (受託事業他)	169,695	159,000	3.2%	▲6.3%
部 品	449,584	420,000	8.4%	▲6.6%
サービス	72,685	72,000	1.4%	▲0.9%
合 計	4,871,815	5,000,000	100.0%	2.6%

2017/5期通期予想修正3【連結】

●売上高構成比の増減予想



2017/5期通期予想修正4【連結】

●損益計算書の実績及び予想

(単位:千円)

	2016/5期 (実績)	2017/5期 (予想)	前期比 増減率
売上高	4,871,815	5,000,000	2.6%
売上原価	3,402,631	3,595,920	5.7%
販売費・一般管理費	889,202	847,340	▲4.7%
営業利益	579,982	556,740	▲4.0%
営業外損益	2,353	▲6,740	▲386.4%
経常利益	582,235	550,000	▲5.6%
特別損益	88,616	2,600	▲97.1%
法人税等その他	276,713	183,000	▲33.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	394,238	369,600	▲6.2%

事業戦略

中期経営方針

経営の基本方針

当社グループは、「技術創造」「社会貢献」「明るい社風」を経営理念に掲げ、「株主」「取引先」「社員」及び「地域社会」に対して、適正な利益還元による満足度の向上を経営の基本理念とし、「他社の追随を許さない技術力と製品の提供」を常に心がけ、お客様からの高い満足と信頼を得られる企業づくりを目標に、事業展開してまいります。

中期的な経営戦略

当社グループは、建築鉄骨業界・自動車関連業界を主力とする形鋼加工機、丸鋸切断機の製造販売をコア事業と位置付け、「お客様視点のものづくり」を基本原点に、グローバルな競合他社に負けない競争力を強化すべく、基盤体制づくりを進めています。また、市場の拡大を図るため、中国・韓国・台湾及び東南アジアを主体とするグローバルステージに参画し、企業価値を高めると共に安定した収益を確保できる企業体質の構築を目指していきます。

重点戦略

1. インフラ整備関連・近代化プロジェクト需要をターゲットに「海外売上高の飛躍」
2. 開発システム・品質システムの構築で「製品開発力を強化」
3. 株式会社アマダマシンツールとの連携強化で「OEM製品の供給拡大」
4. 製造原価低減とトータルコスト削減で「付加価値の向上」
5. 従業員のスキルアップ・管理階層の若返りを目的とする「人材育成の強化」

I R 情報に関するお問合せ先

I R 窓口担当者： 取締役管理部長 鈴木 修平
連絡先 : TEL (0761)58-8231
 FAX (0761)58-6863
 E-mail kanri@takeda-mc.co.jp
 URL <http://www.takeda-mc.co.jp>

☆ご注意

本資料内の予想数値及び計画数値、事業戦略等につきましては、発表日時点において把握していました情報から、当社が合理的と判断したものを掲載しています。

従いまして、経済環境、事業環境の変化にともない、実際の業績等と異なる場合がありますことを、あらかじめご了承くださいようお願い申し上げます。